



# 地域に出向き講話

## 医療従事者が健康づくり支援

苦小牧東病院

加無料の催し。昨年10月から同院周辺の町内会館などで開き、過去5回で高齢者を中心に約180人が参加した。医療や介護の専門スタッフが、認知症予防や糖尿病対策などを分かりやすく紹介し、同院は「回を重ねるごとに参加が増えていく」と手応えをつかむ。

苦小牧東病院(橋本洋一理事長・院長)は、地域に出向いて医療や介護の講話などを行う催し「よろずカフェ」を、2023年度は「苦東(とまと)倶楽部」に改める。今年度試行の同カフェが定着しつつある中、毎月から2カ月に1回ペースの開催とする代わりに、住民がより楽しく過ごせる場として内容を充実させる。

同カフェは医療や介護の講話、体験、相談を行う「よろずカフェ」  
高齢者らに人気の「よろずカフェ」

4月から名称を変えて隔月開催とするのは、PRの強化や内容の充実を図るため。開催地の町内会と連携した周知、事業者など外部講師の講話などを検討中で、「カフェという名前だが、コロナ禍とあって飲食して楽しめるといった体験なども力を入れた」と強調する。

今年度最後の同カフェも趣向を変え、会場は妙見寺(音羽町)に。25日午前9時30分から定員20人程度で予定している。希望者に事前予約を呼び掛けている。申し込みは同院地域連携室

電話0144(55)8811。